

一般カリキュラムカリキュラム

| コース番号 | コース名 | 期 間 | 定員 | 日数 |
|---------------------------------|--|-----------------------|---------|----|
| 8212 | コミュニケーションスキル育成講座 入門編 | 令和7年1月22日(水)～1月23日(木) | 20 | 2 |
| 開催会場 | 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 東京支部（東京都墨田区） | 訓練の過程 | 訓練実施 | |
| | | キャリアステップ | 2 | |
| | | 訓練の要素 | 訓練指導の改善 | |
| 研修のねらい 及び 到達目標 | 社会変化が激しく複雑化する中、ますますコミュニケーションスキルが重要になります。本研修では、コミュニケーションスキルに関する基礎的知識を習得し、実践場面で活用できるようになることを目指します。 (到達目標) ・対人葛藤時の多様な方略が説明できるようになる ・建設的な解決を引き出す対話技法が使えるようになる | | | |
| 最低限 必要な知識 | | | | |
| 研 修 内 容 | 項 目（予 定） | 講 義 | 実技・演習 | |
| | 1 コミュニケーションの基本原則とは (1) 基本的なコミュニケーション力 (2) レジリエントとエンパワメント (3) コミュニケーションスキル基礎演習 | 1 H | | |
| | 2 パーソナリティ特性の理解 (1) コミットメント程度の確認 (2) リフレクションとアプリケーションの程度 (3) パーソナリティ特性理解基礎演習 | 2 H | | |
| | 3 コミュニケーション技法(1) (1) 明確化 (2) 対話分析基礎演習 | | | |
| | 4 コミュニケーション技法(2) (1) 質問の仕方 (2) 多様性の理解 | 1 H | | |
| | 5 総括・質疑 | | | |
| | | 4 H | 0 H | |
| リニューアル の概要 及びアピール ポイント | コミュニケーションスキルの中でも、対人葛藤に対応するスキル習得を目的とします。対人葛藤とは他者との顕在的・潜在的対立を含む社会的状況です。葛藤結果を左右するのは主として当事者の方略行動であり、一般的に対決の方略は葛藤の激化を、協調的の方略は建設的な解決をもたらします。本研修では、対人葛藤時の多様な方略を知り、建設的な解決を引き出す対話力を育成します。 | | | |
| 研修成果が 活用できる 職務 | 職務 1 | 職務 2 | 職務の内容 | |
| 担当教員 (ユニット) | 新目 真紀(キャリア形成支援ユニット)、外部講師 | | | |
| 使用する機器 等 | | | | |
| 受講者が用意 するテキスト (予定) | | | | |